

令和4年千葉県毎月常住人口調査報告書（年報）の概要
 県人口 6,272,144人(令和5年1月1日現在)

人 口 班
 電話 043-223-2223

1. 人口総数

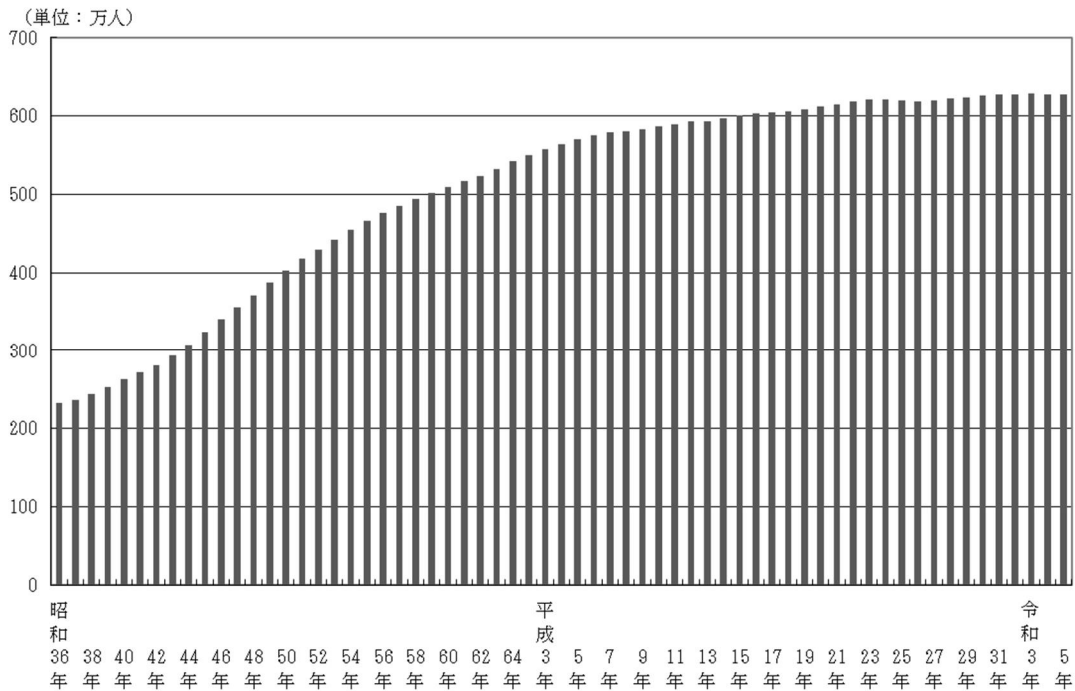
県人口 627 万人

令和5年1月1日現在の本県の人口は6,272,144人で、前年人口の6,272,900人に比べ756人、率にして0.01%減少した。本県の人口は、大正9年10月1日現在（国勢調査）1,336,155人で、その後増加を続け、昭和49年11月1日現在では400万人を超えて、4,002,808人となった。さらに、昭和58年10月1日現在では500万人を超え5,002,542人となり、平成14年9月17日に600万人を突破した。平成23年に初めて減少に転じ、平成25年まで3年連続で減少したが、平成26年から令和2年まで増加し、令和3年以降再び減少している。

令和2年国勢調査によると、本県の人口は、6,284,480人で全国第6位となっている。

また、本県の外国人人口は令和5年1月1日現在177,447人で、前年の161,923人に比べ15,524人、率にして9.59%増加しており、県人口の2.8%を占めている。

図1 千葉県人口の推移（昭和36年～令和5年、各年1月1日現在）



千葉市人口 98 万人
 県人口の 15.6%を占める

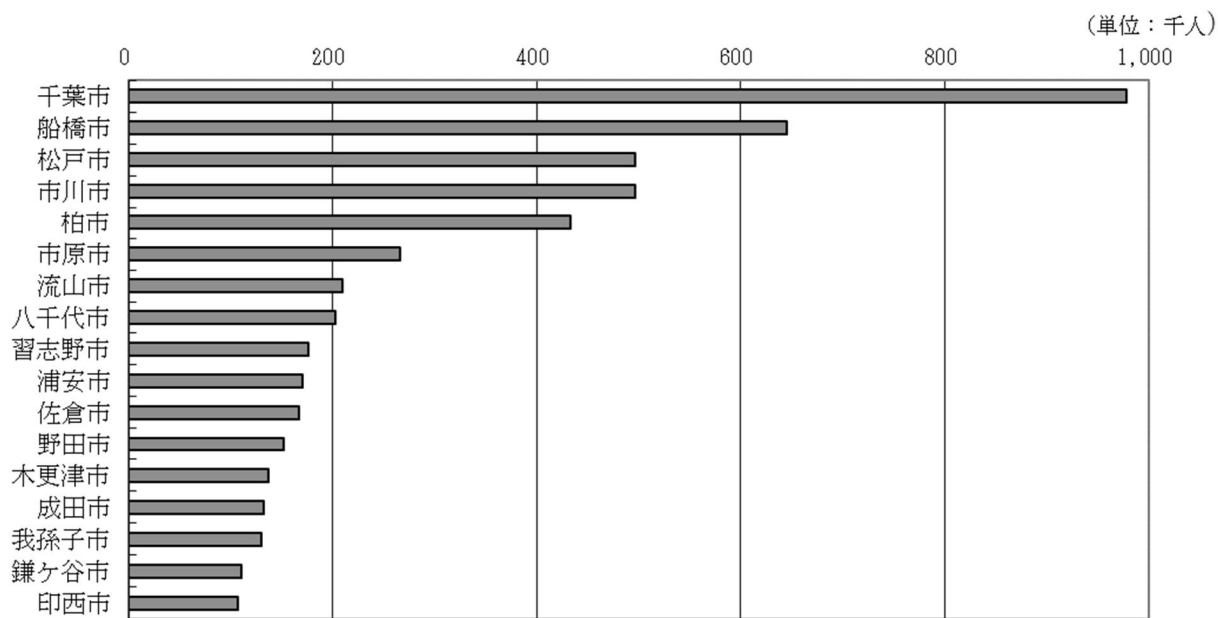
令和5年1月1日現在の県人口を市町村別にみると、市部（37市）のうち10万人以上の市は17市あり、そのうち千葉市が977,994人（県人口に占める割合15.6%）で最も多く、郡部人口190,452人（同3.0%）の約5.1倍となっている。以下、船橋市645,762人（同10.3%）、松戸市496,571人（同7.9%）、市川市496,136人（同7.9%）、柏市432,562人（同6.9%）の順で続き、この5市で県人口の48.6%を占めている。

郡部（16町1村）では、横芝光町が21,383人（同0.3%）で最も多く、以下、酒々井町20,385人（同0.3%）、栄町19,716人（同0.3%）、九十九里町13,883人（同0.2%）、長生村13,476人（同0.2%）

の順となっている。

また、本県の外国人人口を市町村別にみると、千葉市が31,217人(県外国人人口に占める割合17.6%)で最も多く、以下、船橋市19,808人(同11.2%)、市川市18,490人(同10.4%)、松戸市18,362人(同10.3%)、柏市11,037人(同6.2%)の順となっている。

図2 10万人以上の市(令和5年1月1日現在)



2. 人口増減

人口増減数 -756人
増減率 -0.01%

令和4年中の本県の人口増減は、増減数 -756人、増減率 -0.01%で、前年(-12,055人、-0.19%)より増加した。うち、外国人人口増減は、増減数15,524人、増減率9.59%で、前年(-4,363人、-2.62%)より増加した。

近年の人口増減率の推移をみると、昭和42年から49年までは4%以上の増加率であったが、昭和57年からは1%台で推移、平成5年には1%を割った。その後、平成23年に初めてマイナスに転じて以降平成25年までマイナスが続き、平成26年に増加に転じたが、令和3年から再び減少している。

自然増減数は減少

令和4年中の自然増減は、増減数 -34,051人(出生38,266人、死亡72,317人)で、前年の-25,918人(出生39,802人、死亡65,720人)に比べ出生が1,536人減少し、死亡が6,597人増加して自然増減数は8,133人減少した。

うち、外国人の自然増減は、増減数965人(出生1,257人、死亡292人)で、前年の1,044人(出生1,351人、死亡307人)に比べ出生が94人減少し、死亡が15人減少して自然増減数は79人減少した。

近年の自然増減を増減率(各年1月1日現在人口に対する自然増減総数の割合)でみると、昭和42年から54年までは1%以上の増加率であったが、昭和55年に1%を割り、平成元年以降は0.5%を下回って推移していたが平成23年に初めてマイナスに転じ、令和4年も-0.54%となった。

社会増減数は増加

令和4年中の社会増減は、増減数33,295人(転入209,373人、転出172,969人、県内の移動 -408人、その他 -2,701人)で、前年に比べ19,432人増加した。うち、外国人の社会増減は、増減数14,559人(転入57,362人、転出38,354人、県内の移動 -49人、その他 -4,400人)で、前年に比べ19,966人増加した。

前年の増減数13,863人(転入173,297人、転出156,296人、県内の移動 -330人、その他 -2,808人)と比較すると転入が36,076人増加、転出が16,673人増加、県内の移動が78人減少、その他が107人増加している。また、外国人は前年の増減数 -5,407人(転入24,730人、転出25,219人、県内の移動 -25人、その他 -4,893人)と比較すると転入が32,632人増加、転出が13,135人増加、県内の移動が24人減少、その他が493人増加している。

近年の社会増減を増減率(各年1月1日現在人口に対する社会増減総数の割合)でみると、昭和37年から50年までは2%以上の増加率で、そのうち昭和44年は、3.97%と4%に近い高い増加率であったが、昭和51年以降は1%前後の増加率で推移し、平成2年以降は1%を下回った。平成23年、24年はマイナスとなったが、平成25年に増加に転じ、令和4年は0.53%となった。

図3 人口増減率の推移(昭和36年~令和4年)

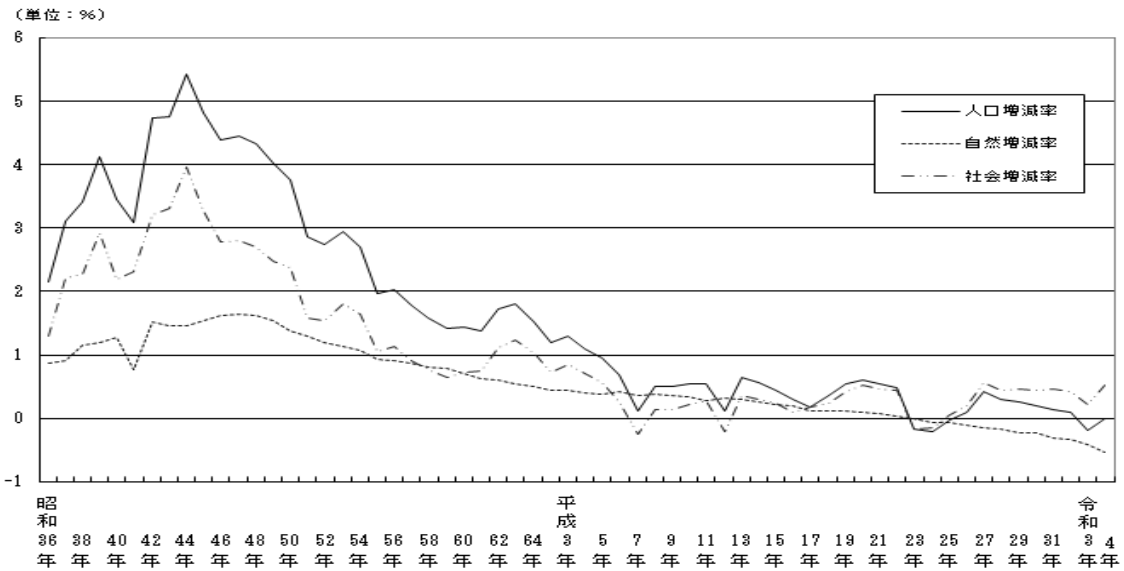


表1 月別動態別人口増減数(令和4年中)

区分	人口増減数	自然増減			社会増減				
		増減数	出生	死亡	増減数	転入	転出	県内の移動	その他
1月中	-3,795	-3,777	3,288	7,065	-18	10,547	10,034	-242	-289
2月中	-3,324	-3,600	2,867	6,467	276	10,975	10,372	-205	-122
3月中	1,798	-3,629	3,210	6,839	5,427	35,177	29,227	-279	-244
4月中	6,743	-2,478	2,876	5,354	9,221	27,944	18,716	124	-131
5月中	3,730	-2,341	3,255	5,596	6,071	21,110	15,101	205	-143
6月中	326	-2,203	3,007	5,210	2,529	17,707	15,058	13	-133
7月中	-900	-2,011	3,086	5,097	1,111	15,475	13,993	-165	-206
8月中	-1,246	-2,799	3,711	6,510	1,553	14,964	13,413	135	-133
9月中	-954	-2,403	3,407	5,810	1,449	13,720	12,157	73	-187
10月中	-104	-2,545	3,410	5,955	2,441	14,812	11,999	-129	-243
11月中	-402	-2,741	3,194	5,935	2,339	13,612	10,987	17	-303
12月中	-2,628	-3,524	2,955	6,479	896	13,330	11,912	45	-567
計	-756	-34,051	38,266	72,317	33,295	209,373	172,969	-408	-2,701

注) その他とは、職種による記載・消除等をいう。

15市で人口増加

最高増減率は印西市 2.21%

令和4年中の人口増減を市町村別にみると、15市で人口が増加、38市町村で減少し、1市で変動がなかった。増加数では流山市が3,889人で最も多く、以下、柏市2,466人、印西市2,320人、八千代市1,363人、船橋市1,319人と続いている。逆に減少数では市原市が1,655人で最も多く、以下、香取市1,261人、銚子市1,213人、君津市927人、富津市892人の順となっている。

また、増加率では印西市が2.21%で最も大きく、以下、流山市1.90%、八千代市0.68%、柏市0.57%、浦安市0.53%と続いている。逆に、減少率では鋸南町が2.88%で最も大きく、以下、九十九里町2.31%、長南町2.23%、長柄町2.20%、富津市2.15%の順となっている。

表2 人口増減数上位5市町村（平成30年～令和4年）

順位	平成30年		平成31(令和元)年		令和2年		令和3年		令和4年	
	市町村	増加数 人	市町村	増加数 人	市町村	増加数 人	市町村	増加数 人	市町村	増加数 人
1	流山市	5,074	流山市	4,942	流山市	5,920	流山市	4,203	流山市	3,889
2	船橋市	4,081	柏市	4,892	松戸市	5,131	柏市	2,680	柏市	2,466
3	柏市	3,595	船橋市	3,340	船橋市	4,029	印西市	1,839	印西市	2,320
4	市川市	2,931	市川市	2,656	習志野市	2,345	千葉市	1,601	八千代市	1,363
5	千葉市	2,217	千葉市	2,467	八千代市	2,087	八千代市	1,178	船橋市	1,319

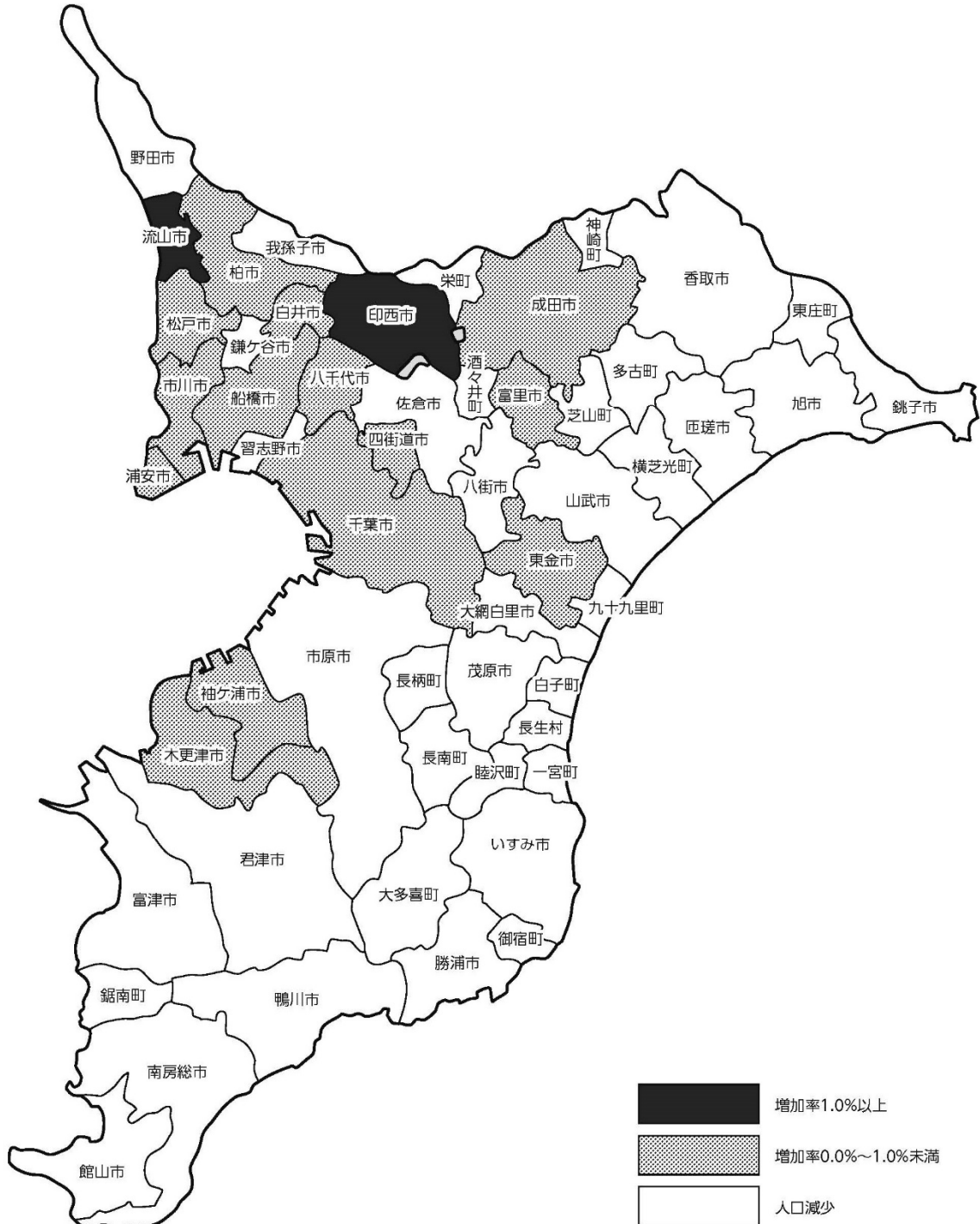
順位	平成30年		平成31(令和元)年		令和2年		令和3年		令和4年	
	市町村	減少数 人	市町村	減少数 人	市町村	減少数 人	市町村	減少数 人	市町村	減少数 人
1	銚子市	1,374	香取市	1,367	千葉市	4,514	市原市	2,031	市原市	1,655
2	市原市	968	銚子市	1,357	柏市	2,671	松戸市	1,558	香取市	1,261
3	八街市	947	市原市	1,354	佐倉市	2,289	銚子市	1,524	銚子市	1,213
4	香取市	933	君津市	926	市原市	906	成田市	1,515	君津市	927
5	君津市	793	八街市	834	山武市	746	佐倉市	1,387	富津市	892

表3 人口増減率上位5市町村（平成30年～令和4年）

順位	平成30年		平成31(令和元)年		令和2年		令和3年		令和4年	
	市町村	増加率 %	市町村	増加率 %	市町村	増加率 %	市町村	増加率 %	市町村	増加率 %
1	流山市	2.74	流山市	2.60	流山市	3.03	流山市	2.09	印西市	2.21
2	印西市	2.07	印西市	2.23	一宮町	2.13	印西市	1.78	流山市	1.90
3	袖ヶ浦市	1.26	柏市	1.15	印西市	1.64	袖ヶ浦市	0.66	八千代市	0.68
4	四街道市	0.93	袖ヶ浦市	1.07	習志野市	1.35	柏市	0.63	柏市	0.57
5	浦安市	0.89	四街道市	0.89	酒々井町	1.24	八千代市	0.59	浦安市	0.53

順位	平成30年		平成31(令和元)年		令和2年		令和3年		令和4年	
	市町村	減少率 %	市町村	減少率 %	市町村	減少率 %	市町村	減少率 %	市町村	減少率 %
1	芝山町	2.66	鋸南町	3.03	鋸南町	4.89	鋸南町	3.26	鋸南町	2.88
2	鋸南町	2.55	長柄町	2.82	長南町	4.21	九十九里町	2.62	九十九里町	2.31
3	大多喜町	2.37	長南町	2.25	九十九里町	2.93	銚子市	2.62	長南町	2.23
4	勝浦市	2.23	銚子市	2.25	勝浦市	2.54	多古町	2.57	長柄町	2.20
5	銚子市	2.23	勝浦市	2.17	大多喜町	2.27	勝浦市	2.56	富津市	2.15

図4 市町村別人口増減率（令和4年1月～令和4年12月）



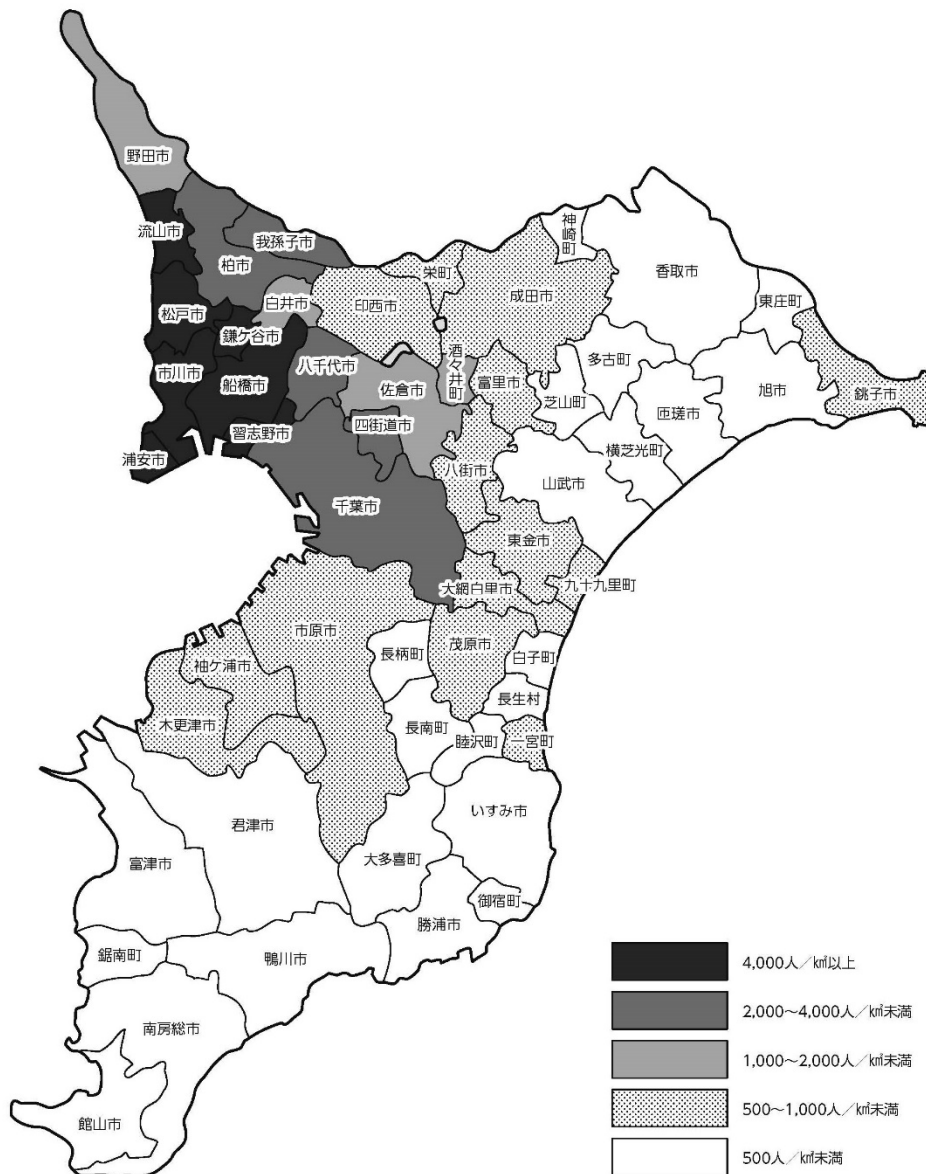
3. 人口密度

県人口密度 1,216.3 人/km²
市町村別人口密度は浦安市が
9,844.0 人/km²で最高

本県の人口密度は、令和5年1月1日現在 1,216.3 人/km²で、前年の人口密度 (1,216.3 人/km²) から変動はなかった。市郡別にみると、市部 1,380.7 人/km²、郡部 253.3 人/km²で、市部は郡部の約5.5倍の人口密度となっている。

人口密度を市町村別にみると、浦安市が 9,844.0 人/km²で最も高く、以下、市川市 8,636.0 人/km²、習志野市 8,381.1 人/km²、松戸市 8,090.1 人/km²、船橋市 7,542.2 人/km²と続き、逆に人口密度の低い市町村は、大多喜町 64.9 人/km²、長南町 105.1 人/km²、長柄町 136.0 人/km²、鋸南町 144.3 人/km²、南房総市 149.3 人/km²の順となっている。

図5 市町村別人口密度 (令和5年1月1日現在)



4. 世帯数

県世帯数 284 万世帯

1 世帯当たり人員は 2.21 人

令和 5 年 1 月 1 日

現在の本県の世帯数

は 2,836,627 世帯

で、前年の世帯数 2,801,855 世帯に比べて 34,772 世帯増加し、増減率では 1.24% となり、人口増減率 -0.01% よりも高い率となっている。

1 世帯当たり人員は 2.21 人で、前年の 2.24 人に比べ 0.03 人減少した。

また、1 世帯当たり人員を市町村別にみると、東庄町の 2.72 人が最も多く、以下、芝山町 2.71 人、長南町 2.65 人、睦沢町 2.63 人、印西市及び多古町 2.62 人と続き、逆に最も少ないのは市川市の 2.01 人で、以下、勝浦市 2.03 人、浦安市及び松戸市 2.10 人、千葉市 2.13 人の順となっている。

県の 1 世帯当たり人員より少ないのは 14 市町で、多いのは 40 市町村となっている。

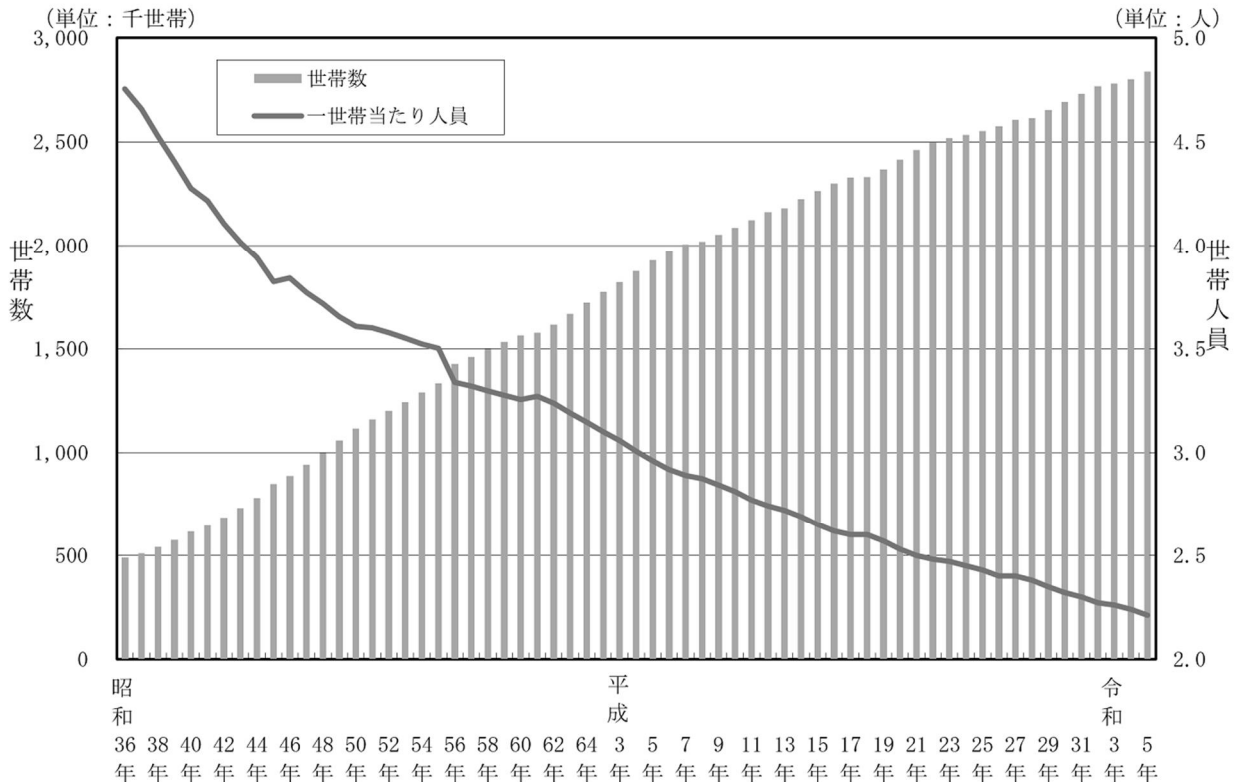
表 4 月別世帯増減数 (令和 4 年中)

(単位：世帯)

区分	増減数	転入	転出	その他
1月中	-1,339	6,868	6,087	-2,120
2月中	-345	7,231	6,293	-1,283
3月中	11,495	23,814	13,176	857
4月中	11,057	20,468	9,991	580
5月中	5,754	16,326	10,035	-537
6月中	2,112	13,103	10,655	-336
7月中	704	10,835	9,143	-988
8月中	778	10,043	8,058	-1,207
9月中	1,779	9,743	7,600	-364
10月中	2,024	10,616	7,558	-1,034
11月中	1,136	9,565	7,099	-1,330
12月中	-383	9,239	7,849	-1,773
計	34,772	147,851	103,544	-9,535

注) その他は、県内間の転入転出、死亡世帯及び職権による記載・消除等をいう。

図 6 世帯数及び世帯人員数の推移 (昭和 36 年～令和 5 年、各年 1 月 1 日現在)



5. 県外との人口移動

人口移動総数 38万2千人
移動率 6.09%

令和4年中の県外との移動者総数（転入者数と転出者数の和）は、382,342人で前年の329,593人に比べ52,749人増加し、移動率（各年7月1日現在人口に対する移動者総数の割合）は6.09%と、前年の5.25%に比べて0.84ポイント上昇した。

3万6千人の転入超過
転入超過率 0.58%

令和4年中の県外からの転入者数は209,373人（前年173,297人）、転出者数は172,969人（同156,296人）で、転入超過数は36,404人（同17,001人）となった。

また、令和4年の転入超過率（各年7月1日現在人口に対する転入超過数の割合）は0.58%となり、前年の0.27%に比べて0.31ポイント上昇した。

なお、県外（46都道府県）との関係は、35都府県から転入超過となり、11道県へ転出超過となっている。

表5 年次別他都道府県間人口移動総数（平成15年～令和4年）

年次	移動数	移動率	転入超過数 (-は転出超過)	転入超過率 (-は転出超過)	転入数	転出数	千葉県人口 (各年7月1日現在)
平成15年	397,319人	6.60%	16,827人	0.28%	207,073人	190,246人	6,020,313
16年	384,037	6.35	6,233	0.10	195,135	188,902	6,048,643
17年	382,865	6.32	9,173	0.15	196,019	186,846	6,059,169
18年	380,885	6.27	14,845	0.24	197,865	183,020	6,073,549
19年	381,227	6.25	25,649	0.42	203,438	177,789	6,102,892
20年	376,061	6.13	30,077	0.49	203,069	172,992	6,139,750
21年	368,613	5.97	26,341	0.43	197,477	171,136	6,177,586
22年	354,989	5.73	12,669	0.20	183,829	171,160	6,199,614
23年	345,430	5.56	-11,418	-0.18	167,006	178,424	6,215,256
24年	333,281	5.38	-8,571	-0.14	162,355	170,926	6,197,944
25年	327,570	5.29	6,982	0.11	167,276	160,294	6,191,925
26年	328,341	5.30	15,435	0.25	171,888	156,453	6,195,734
27年	348,343	5.61	21,979	0.35	185,161	163,182	6,207,032
28年	347,940	5.58	28,964	0.46	188,452	159,488	6,239,018
29年	359,831	5.75	30,169	0.48	195,000	164,831	6,254,216
30年	369,647	5.90	31,191	0.50	200,419	169,228	6,267,917
平成31(令和元)年	381,127	6.07	32,475	0.52	206,801	174,326	6,277,952
令和2年	342,811	5.46	26,701	0.42	184,756	158,055	6,284,300
3年	329,593	5.25	17,001	0.27	173,297	156,296	6,281,299
4年	382,342	6.09	36,404	0.58	209,373	172,969	6,278,378

表6 千葉県との転入・転出超過上位都道府県（平成30年～令和4年）

順位	平成30年		平成31(令和元)年		令和2年		令和3年		令和4年	
	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数
1	茨城県	1,512人	茨城県	1,018人	東京都	3,559人	東京都	8,595人	東京都	4,802人
2	大阪府	1,276	大阪府	1,000	愛知県	1,169	宮城県	792	大阪府	797
3	福岡県	1,002	福岡県	966	茨城県	824	愛知県	759	兵庫県	723
4	宮城県	892	愛知県	956	大阪府	707	大阪府	657	愛知県	590
5	北海道	681	兵庫県	836	福岡県	618	新潟県	606	新潟県	462

順位	平成30年		平成31(令和元)年		令和2年		令和3年		令和4年	
	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数
1	東京都	1,939人	東京都	2,374人	神奈川県	1,160人	神奈川県	551人	埼玉県	1,232人
2	神奈川県	1,135	神奈川県	1,886	埼玉県	552	茨城県	432	茨城県	1,223
3	埼玉県	936	埼玉県	1,298	群馬県	129	埼玉県	214	神奈川県	1,106
4	鳥取県	14	滋賀県	58	沖縄県	46	山梨県	187	栃木県	450
5			沖縄県	9			群馬県	143	群馬県	349